

小学校

「全国学力・学習状況調査」豊田市の状況について 令和7年度の結果から

本調査は、児童の学力や学習状況を把握し、その結果を今後の教育活動に役立てていくことを目的としています。令和7年度の結果から分かる児童の状況を報告します。

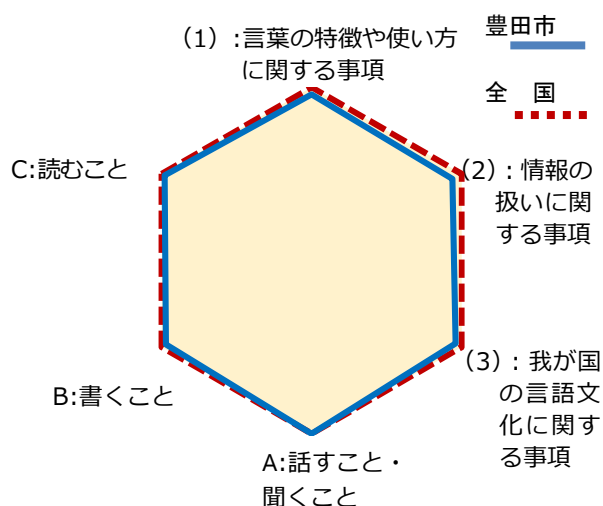
【調査の概要】	調査実施日	令和7年4月17日（木）
	調査対象	小学6年生 75校
	調査事項	教科に関する調査（国語・算数・理科） 質問紙調査（学習・生活）

教科に関する調査の結果

< 国 語 >

全国平均よりもやや低い結果でした

【全国の平均正答率*との比較】



【こんなところできています】

- ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する（A）

【こんなところが課題です】

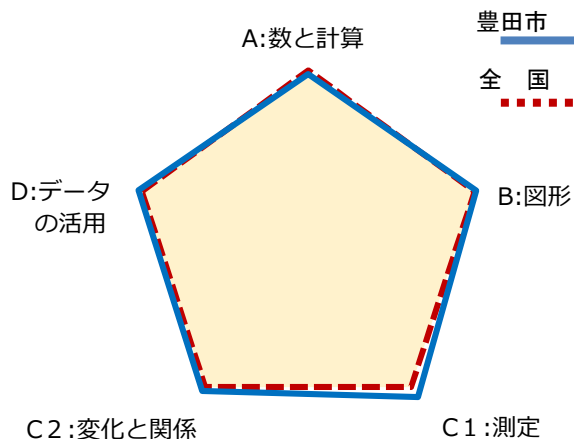
- ・情報と情報との関係づけ、語句と語句との関係の表し方を理解し使う（2）
- ・目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する（B）

(A) 話すこと・聞くこと (B) 書くこと (C) 読むこと
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
(2) 情報の扱いに関する事項
(3) 我が国の言語文化に関する事項

< 算 数 >

全国平均とほぼ同じ結果でした

【全国の平均正答率*との比較】



【こんなところできています】

- ・伴って変わる2つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な事柄を判断し、求め方を書く（C1, C2, D）
- ・棒グラフから、項目間の関係を読み取る（D）

【こんなところが課題です】

- ・数直線上に示された線を分数で書く（A）
- ・角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさがわかる（B）

(A) 数と計算 (B) 図形 (C1) 測定
(C2) 変化と関係 (D) データの活用

*正答率…テストを100点満点に換算した数値

グラフは全国平均を100としたときの、豊田市の数値を表しています

< 理科 >

全国平均とほぼ同じ結果でした

【全国の平均正答率*との比較】

A1「エネルギー」を柱とする領域 豊田市

全 国

A2「粒子」を
柱とする領域

B2「地球」を
柱とする領域

B1「生命」を柱とする領域

【こんなところできています】

- ・土の粒の大きさによる水のしみ込み方のちがいについて、土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現する（B2）
- ・「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現する（A2）

【こんなところが課題です】

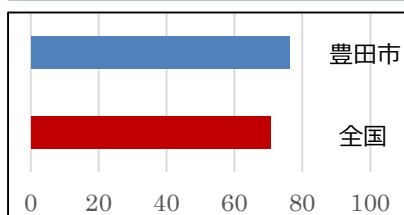
- ・種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し表現する（B1）
- ・顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている（B1）

(A1)「エネルギー」を柱とする領域 (A2)「粒子」を柱とする領域
(B1)「生命」を柱とする領域 (B2)「地球」を柱とする領域

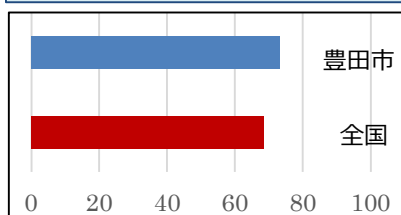
学習および生活状況に関する質問紙調査の結果

<よい傾向>

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談する

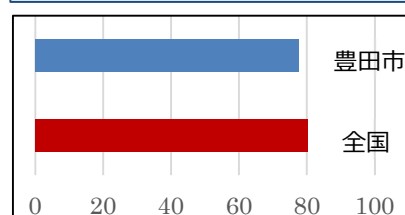


自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する



<改善を要する傾向>

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる



<上記以外の傾向>（全国平均と比べて、○はよい傾向）

- 分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫できる
- 自分で課題を立て、情報を集めて整理し、調べたことを発表する

郷土を愛し、自らの可能性を広げ、未来を切り拓く児童を育てるために

豊田市では

- ・分析結果に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を進めます
- ・一人一人の基礎基本の定着を図るために、デジタルドリル教材等を授業で効果的に活用します
- ・コミュニティ・スクールのよさを活かし、地域ぐるみの教育の実現に努めます

学校では

- ・情報を整理・分析し、結果や考えの伝え方を工夫して表現する指導を行います
- ・国語科を土台とした、事柄やものの見方・考え方、思いや願いなどを、言葉で伝え合う授業づくりを大切にします

家庭では

- ・学校での生活や学習について、お子さんの話を聞く時間を大切にしましょう
- ・生活習慣を整え、家庭学習の内容などをお子さんと一緒に考え、決めましょう